

製品名: CD133 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21592**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:20-1:100,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:97kD;Observed MW:133kD

抗原情報

遺伝子名	PROM1
別名	PROM1;Prominin-1;Antigen AC133;Prominin-like protein 1;CD133
遺伝子 ID	8842.0
SwissProt ID	O43490
免疫原	ヒト CD133 の組み換えタンパク質

背景

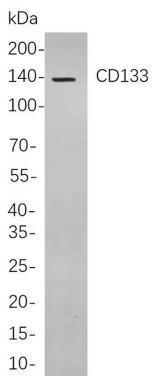
細胞局在: 膜性。この遺伝子は五回膜貫通型糖タンパク質をコードする。このタンパク質は膜突起に局在し、成体幹細胞でしばしば発現し、分化を抑制することで幹細胞の特性を維持する機能を持つと考えられている。この遺伝子の変異は、網膜色素変性症および

シュタルガルト病を引き起こすことが示されている。また、この遺伝子の発現はいくつかの種類のもとも関連している。この遺伝子は、組織依存的に発現する少なくとも5つの代替プロモーターから発現する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009年3月]

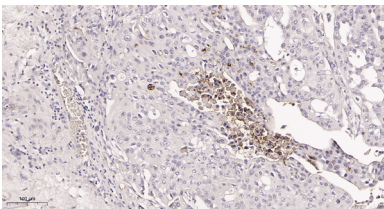
研究分野

-

画像データ



CD133 ウサギ mAb を用いた Caco-2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。1、CD133 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。